

令和4年度 高知県立日高特別支援学校高知みかづき分校学校運営協議会

〈委員〉

吉村 敦美	(初月地区青少年育成協議会 会長)
島本 敬子	(初月地区民生委員児童委員協議会 副会長)
丁野 信二	(万々商店街振興組合 理事長)
田所 幸代	(日高特別支援学校高知みかづき分校 PTA 会長)
美濃 厚志	(日高特別支援学校高知みかづき分校 PTA 役員)
島村 昌利	(RKC 調理製菓専門学校 校長)
樋口 あき	(高知県警察本部生活安全部少年課 課長 兼 少年サポートセンター 所長)
松本 郁夫	(高知障害者就業・生活支援センター シャイン所長) ※欠席
松本 秀彦	(高知大学教育研究部人文社会科学系教育学部門 教授)
利岡 徳重	(日高特別支援学校 校長)

令和4年度 第2回学校運営協議会

- 1 開催日時 令和5年2月13日(月) 13:30～15:30
- 2 場所 日高特別支援学校高知みかづき分校 多目的ホール
- 3 開会 ○校長挨拶
○自己紹介
- 4 議事
 - (1)令和4年度学校経営計画年度末評価について
 - (2)令和5年度学校経営計画等について
 - (3)意見交換
- 5 議事概要
 - (1)令和4年度「学校経営計画・学校評価シートについて」※資料参照
○校長から説明
 - ア 専門性の向上(就労による自立を目指す生徒の育成に必要な資質の向上)
 - (ア)キャリア教育戦略会議について
 - (イ)不登校の生徒に向けての取組について
 - (ウ)教師、生徒間の双方向通信の授業の実施に関して(GIGA スクールサポーターからの研修について)
 - イ キャリア教育の充実(職業生活に必要な力の育成)
 - (ア)就職アドバイザーとの連携について
 - (イ)JSP 制度の活用(専門家からのアドバイスの活用)
 - (ウ)ステップアップシートの活用

- (工)新規作業種に関する検討
- (オ)外国の文化や国際情勢についての理解、ALT の活用

ウ 防災・防犯教育の充実

- (ア)実践的な訓練の実施
- (イ)高知ろう学校と連携した合同避難訓練の実施

エ 地域貢献の推進

- (ア)感染症対策を講じたうえでの清掃活動
- (イ)生徒会による貢献活動
- (ウ)SDGsの目標を意識した取組

オ 働き方改革

- (ア)分掌業務の平準化について
- (イ)「教材フォルダー」の充実
- (ウ)グループウェアの活用

6 意見交換

(1)専門性の向上(就労による自立を目指す生徒の育成に必要な資質の向上)

○教師の専門性を向上させるためにも「キャリア教育戦略会議」を早い時期に開催することは必要と思われる。また、外部評価をどのように活用していくかが大事だと思う。

○教師の専門性の向上は取組の大きな柱である。早くから計画を行い、教師の専門性を向上させていく必要がある。

○Chromebook や電子黒板など ICT 機器の活用は今後も続けてもらいたい。

外部評価は B- ☆「キャリア教育戦略会議」で得た外部からの助言がまだ学習活動に反映することができていないが、不登校傾向の生徒が減少してきているため

(2)キャリア教育の充実(職業生活に必要な力の育成)

○校外での清掃作業で、職場の清掃に来てもらっている。清掃だけではなく、気持ちよく挨拶をしてもらい感謝している。

○最近、社会性において多様な生徒が増えてきているように感じており、それぞれの生徒に対してどのようなことに気を付けながら支援をしていけばいいかを念頭に置くことが大事だと思う。

○JSP 制度では、年間 4 回高知みかづき分校にお菓子の作り方を教えに来ている。

新型コロナウイルス感染症の影響で販売が制限され、モチベーションを保つのも大変だったと思う。その中でも先生方は、一生懸命指導し、衛生面も含め目標は十分に達成できているのではないかと思う。

○ステップアップシートを活用した指導、家庭との情報共有を今後も続けて行ってもらいたい。

外部評価は B 目標が達成できていると考えるため

(3) 防災・防犯教育の充実

○火災や地震などの実際場面に対応したいろいろな活動をしてきている。

○防災訓練は、繰り返し行うことが大切である。いろいろな場面を想定してシミュレーションできると良いと思う。高知ろう学校と連携した訓練も引き続き行ってほしい。

外部評価は B 目標が達成できていると考えるため

(4) 地域貢献の推進

○新型コロナウイルス感染症対策のため、地域のイベントに参加できなかったことが残念である。様々なイベントで学校を紹介できる活動ができると良い。コロナ禍の中でもできる活動を考え、地域の方と触れ合うことができるように工夫していけると良い。

○みかづき分校の生徒と関わることでできる活動ができると良い。来年度は、活動できることが増えそうなので一緒に活動できることを期待している。

外部評価は B 目標が達成できていると考えるため

(5) 働き方改革

○教職員が少人数のため、業務の重なりが出てしまうことがあるが、業務の平準化のために各分掌の配置人数も含め、検討する必要がある。

○「教材フォルダ」の保存、活用については、業務改善のためにも大事である。

外部評価は B- ☆各分掌業務の引継ぎは、できてきているが業務の平準化はまだできていないため

7 令和5年度 学校経営計画(重点取組目標)

(1)専門性の向上(就労による自立を目指す生徒の育成に必要な資質の向上)
生徒一人一人の「実態を把握する力」及び「指導力」の向上を目指す。

(2)キャリア教育の充実(職業生活に必要な力の育成)

生徒一人一人のニーズに応じた職業教育を系統的に実施し、将来の職業生活や社会生活に必要な力を育成する。

(3)防災・防犯教育の充実

南海トラフ巨大地震や火災、不審者、弾道ミサイル発射への対応の見直しを行い、防災・防犯・危機管理意識の向上を目指す。

(4)地域貢献の推進

地域における清掃活動やボランティア活動等の貢献活動を通して、働くことの意識を確認しながら、生徒の自己肯定感・自己有用感を高めていく。また、清掃活動等の環境教育を通して、SDGsの達成にも取り組んでいる意識を育てていく。

(5)働き方改革

ワーク・ライフバランスを考え、健康で活性化された職場づくりに努める。

***学校の今後の方向性が確認、承認された**

8 学校評価アンケートについて ※資料参照(生徒・保護者・教職員)

○一つの項目だけでの判断ではなく、関係要素の複合する部分をみて原因と将来的なことについて考えていくことが必要だと思う

⇒校長:。関連する部分を考えながら対応していきたい。

○否定的な意見が出ているアンケートの項目によっては生徒と保護者が同じ家庭である場合があるのではないか。家庭での会話などで、生徒と保護者の満足度がつながっていると考えられる。

⇒校長:否定的な意見のあった項目については、分析を行い、改善に努めていく。

8 閉会

○校長謝辞